



# フィルハーモニッシャー・コール 第4回演奏会

## ハイドン「ネルソン・ミサ」

ブラームス「運命の歌」他

2021年5月8日(土)

14:00開演 13:15開場  
(終演予定16:00)

めぐろパーシモンホール 大ホール  
(東急東横線「都立大学」駅より徒歩7分)

S席2,500円 A席2,000円 B席1,500円



[ソプラノ]  
柏原 奈穂



[アルト]  
向野 由美子



[テノール]  
高橋 淳



[バス]  
原田 圭



[指揮]  
松岡 究

管弦楽：パイオニア交響楽団

合唱：フィルハーモニッシャー・コール / 合唱指揮：吉川 貴洋

身体で聴こう音楽会  
ご案内

聴覚に障がいをお持ちの方にも演奏をお楽しみいただくためにボディソニック(体感音響システム)を使った座席を本演奏会でご用意しております。ご希望の方は下記へお問い合わせください。  
パイオニア株式会社 人事総務本部 FAX:03-6634-8736 ☎03-6634-9262



■ お問い合わせ  
フィルハーモニッシャー・コール事務局  
☎ 080-5055-3804  
E-MAIL: contact@ph-chor.com



■ チケット  
取り扱い  
チケットぴあ  
☎ 0570-02-9999  
Pコード: 192-563

■ 未就学児の入場はお断りして  
おります。どうぞご理解の上、  
ご協力をお願いいたします。





# フィルハーモニッシャー・コール 第4回演奏会

～ 患難から希望へ～

ハイドンの《ネルソン・ミサ》が作曲された当時、オーストリアはナポレオン率いるフランス軍による侵攻に脅かされ、ハイドンが仕えていたエステルハースィ家も困窮していました。それでもなお、賛美と祝福をもって羽ばたくような祈りの旋律を紡いだハイドン。そしてハイドンを敬愛したブラームスが描く、天上への憧れと、悩み苦しむ地上の人々。ブラームスは救いなき詩にも、極上の美しさをもつ音楽を与えました。時代が変わっても、自然災害や戦争、新興感染症など、様々な脅威が私たちの身近に存在します。その患難を超えて希望へと繋がる歌が、皆様の心に届きますように。

## 指揮 松岡 究 Hakaru Matsuoka

指揮を小林研一郎氏に師事。1991年文化庁在外研修員、2004年～2007年ローム財団音楽特別研究生としてベルリンで研修。1987年～2008年東京オペラプロデュース指揮者。2009年～2012年日本オペレッタ協会音楽監督、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団専任指揮者をそれぞれ歴任。現在、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者。

## ソプラノ 柏原 奈穂 Naho Kashiwabara

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。藝大卒業時にアカンサス音楽賞受賞。2006年文化庁海外派遣在外研修員としてイタリアへ留学。ペルー国立音楽院を最高点で修了。これまでに「フィガロの結婚」(スザンナ)、「後宮よりの逃走」(コンスタンツェ)など多数出演。第11回世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2005」で優秀者として、ドイツでの本選に出場。日本声楽家協会研究所および教育センター講師。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。

## メゾソプラノ 向野 由美子 Yumiko Kohno

東京藝術大学卒業、同大学院修了。在学中より宗教曲や多数のバッハカンタータのソリストを務め、オペラでは「カルメン」カルメン他、特にズボン役を得意とし、日生劇場「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、同劇場公演「アイナダマル」ガルシア・ロルカ役にて好評を博す。2005年「ラ・チェネレントラ」ティスベ役で藤原歌劇団デビュー後、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「オリエ伯爵」イゾリエ、「カプレーティとモンテッキ」ロメオ等、出演を続けている。都留文科大・上野学園大非常勤講師、藤原歌劇団団員。

## テノール 高橋 淳 Jun Takahashi

東京音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。モーツァルト音楽院夏期アカデミー修了。二期会オペラ研修所修了。オペラでは新国立劇場、二期会、びわ湖ホールをはじめとする国内の多数公演、海外ではイタリアのブッチェニ・フェスティバルにも出演。コンサートではN響、読売日響をはじめ、国内主要オーケストラとの共演のみならず、ザルツブルク音楽祭、ベルリン、アムステルダムと海外でも幅広いレパートリーを歌っている。CD「暁は光から」発売中。東京音楽大および埼玉県立大宮光陵高校音楽科各講師、二期会会員。

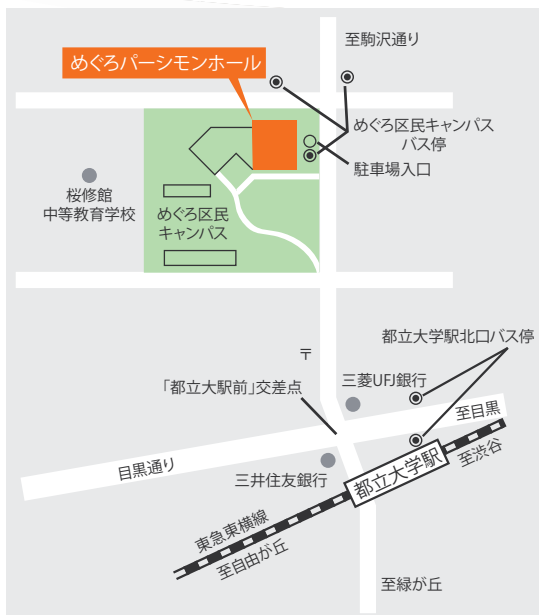
## バリトン 原田 圭 Kei Harada

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程、及び博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。在学中に安宅賞受賞。「藝大メサイア」公演のソリストとしてデビュー。東京文化会館新進音楽家オーディション合格、デビューコンサートに出演。第16回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位、中田喜直賞受賞。第77回日本音楽コンクール入選。新国立劇場、二期会、日生劇場、東京・春・音楽祭等のオペラや、「第九」「レクイエム」等のコンサートソリストとしても多数出演。現在、千葉大学教育学部音楽科、日本大学芸術学部非常勤講師。二期会会員。

## ■ 会場のご案内 ■

東急東横線「都立大学」駅より徒歩7分

※駐車場の台数が非常に少ないため、公共交通機関をご利用ください。



## 管弦楽 パイオニア交響楽団 Pioneer Symphony Orchestra

パイオニア交響楽団(以下PSO)は1991年にパイオニアグループの社員を中心に活動を開始したアマチュアオーケストラ。年1、2回の定期演奏会をはじめ、演奏旅行なども含め、多くの演奏会を開催している。盟友フィルハーモニッシャー・コールとは、オペラから大型交響曲まで、アマチュアとしては取り組むことが難しい領域へのチャレンジを共にやってきた。今回の公演でも新しい出会いが期待され、PSOの音楽性はさらに深まることになるであろう。

## 合唱 フィルハーモニッシャー・コール Philharmonischer Chor



フィルハーモニッシャー・コール(PHC)は「音楽を愛する人の合唱団」を意味する。20年間続いたパイオニア合唱団の精神を引き継ぎ、2015年に自主運営の混声合唱団として創設、オーケストラと共演する演奏会の開催を活動の柱とする。週1回の練習は土曜午後と金曜夜を交互に、昨夏からは感染対策を実施しての対面練習とオンライン練習を組み合わせで行っている。土曜練習ではプロのオペラ歌手による発声指導を実施。これまでに、ラター「マニフィカト」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ブッチェニ「4声のミサ曲」、バッハ「ミサ曲口短調」等、幅広い作曲家の作品に取り組んでいる。

チケット  
取り扱い

チケットぴあ pia.jp/t  
0570-02-9999

PCODE:192-563

感染症予防対策(マスク着用、検温、手指消毒、連絡先記入、密を避けての行動など)のご協力をお願いいたします。発熱/体調不良の方はご来場をお控えください。状況により対策内容に変更の可能性がございます。ご来場前に必ず右記QRコードから弊社ホームページ「ご来場の皆様へのお願い」をご覧ください。

